

温々 ギャラリー案内 2024年1月～6月〈上半期〉

TEL/FAX 048-686-3620

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856

<https://cafe-nukunuku.com>

1月5日(金)～1月14日(日) 千代田路子 「OSHICHI」	私はある魅惑的な人形に出会いました。人形の物語に共感する自分の心を見つけた時に、そこに深い悲しみがありました。それは自身の記憶が呼び起こされたことにとどまらず、我々の宿命に対する根源的な悲しみでした。
1月16日(火)～1月28日(日) 工房集展	温々での展覧会も16回目になります。今回は工房集の作家たちによるアート作品を紹介します。温かみのある刺繍の作品や、クレヨンの絵画作品を展示販売します。あわせて工房集の手織り製品や陶器もお楽しみください。
1月30日(火)～2月12日(月・祝) 吉澤浩 「たんたんてん No10」	温々オーナーから授かりました、このタイトル「たんたんてん」も10回目になりました。隔年ですので早20年。山あり谷あり、東へ西へと走り続けてまいりましたがそれも後から思えば淡々と言う事でしょうか？
2月14日(水)～2月25日(日) 中矢嘉貴 「木と暮らす 3」	富士山麓の「木」で、照明・うつわ・花器 などをつくっております。温々さんの壁・空間で展示すると作品が活き活きと喜んでいるように感じ嬉しくなります。最近には特に照明・花器の制作が充実してきましたので、楽しみにお越しくください。
2月27日(火)～3月10日(日) 会津うるし三人展	主に家紋の蒔絵を施し繊細な仕上がりの佐藤淳。三代にわたり蒔絵を後継し守り続けている照井克弘。今の時代に寄り添う暮らしの器を考える八木由紀子。三人三様の蒔絵の世界をお楽しみください。
3月12日(火)～3月24日(日) こうべくつ家 「靴作家・森田圭一、その多様性」	一生履ける靴。軽くてシンプルな靴。靴かどうかもわからない靴。革靴も、スニーカーも。様々な角度から「靴」について考えたらこうなった。靴作家・森田圭一の多様な作品たちを体験ください。
3月26日(火)～4月7日(日) 本谷眞智子の柿渋染	山形県小国町に移り住んで38年。柿渋との出会いから早40年以上となります。人生の半分を柿渋に親しんできました。今回は新しい柿渋染と楽しく取り組みながらの作品になります。
4月9日(火)～4月21日(日) kate pomfret 陶展	素朴でチャーミング。 毎日使いたくなるような器を目指しています。
4月23日(火)～5月6日(月・祝) アトリエPOPPO 風とモビール展	銅や真鍮などの金属を素材として 飛行船や花びらをモチーフに季節で楽しめるモビールをたくさん展示します。他にも時計や壁掛け、アクセサリなども展示します。ぜひともご覧ください。
5月8日(水)～5月19日(日) 田中猛 好きな器展	わら灰釉は、稲わらを原料に出来る釉薬です。 好きなわら灰釉の作品を中心に見て頂きたいと思っています。
5月21日(火)～6月2日(日) 今井茂淑 #8 古材家具展	機能美に魅せられ民具や農具などを使い 時を経た素材からバランス良い形を学び家具や木工品を創作しています。 在廊日には皆さまと楽しくお話できるのが待ち遠しいです。
6月4日(火)～6月16日(日) 尾形かなみ・本間和花子 ガラスと陶 二人展	今回はガラスで郷土玩具や縁起物などを作りたいと思います。古い家屋のあの空間にきっと合う陶芸の本間さんとの組み合わせも今からわくわくです。(尾形) 陶芸を始めたときから、毎日の生活に小さな花を添えるような、つくる喜びがつつたわるような、そんなものづくりを目指しています。楽しんで頂けたら幸いです。(本間)
6月18日(火)～6月30日(日) 加藤文子 My other Love vol.9 ーヨロコビの鉢ー	植物が喜んで暮らしてくれることを願って、鉢を作ってみました。 保存版リーフレットなど、楽しい展示を考えています。 植物スケッチや奏デル盆栽と一緒に ご高覧頂ければ幸いです。